

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ及び新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置実施状況等に係る面談

2. 日時：令和3年11月25日（木）16時00分～17時10分

3. 場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構敦賀事業本部

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
志間安全規制管理官、島田安全審査官、加藤原子力規制専門員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事
敦賀廃止措置実証本部 本部長 他3名

5. 要旨

○原子力規制庁は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）敦賀事業本部を訪問し、ふくいスマートデコミッショニング技術実証拠点における廃止措置に係る技術開発等について、配付資料に基づき説明を受けた。

○また、原子力規制庁は、高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）及び新型転換炉原型炉ふげん（以下「ふげん」という。）の廃止措置実施状況等について、原子力機構と意見交換を行った。

○原子力規制庁より、以下の点を伝えた。

- ・ふげんにおいて、廃止措置が進んでいる現状に鑑み、廃止措置の各段階に応じて求められる安全機能と、その安全機能に対する性能維持施設の在り方について、組織としての考え方を示すこと。
- ・もんじゅの廃止措置の第2段階への移行に際して、これまでに経験のない作業が増えていくことから、当該作業において懸念される事項について、工程遅延のリスクも含めて慎重に検討すること。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1 ふくいスマートデコミッショニング技術実証拠点（スマデコ）の概要